

GHS対応「SDS作成+ラベル発行」統合システム (日本市場版)

FlpsProML(多言語版) データ変換一括取込みプログラム

フルカラー・ラベル発行システム
開発元: 日本エレクトロニクス工業株

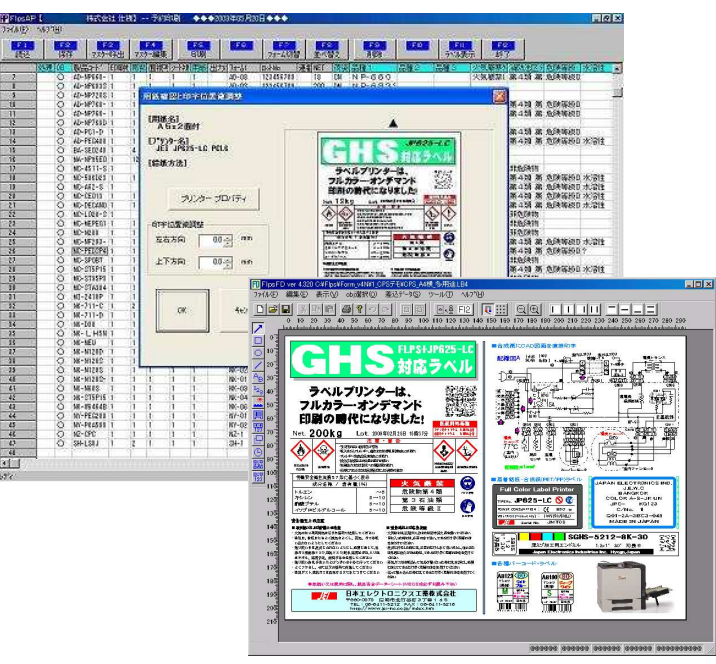
i.Bou-GHS (M)SDS作成支援システム

開発元: 華日遠東高科技有限公司

- 《 FlpsProML(多言語版)の特徴 》
- ◆GHSデータの「データ変換と一括取込み機能」を標準機能として装備しました
 - ◆多言語ラベルに対応(中国語・韓国語・タイ語など)
 - ◆i.Bou-GHS からのGHS更新データを一括取込
 - ◆無地用紙からフルカラーGHSラベルを簡単作成
 - ◆全社共有データの一元管理でミスなく自動発行

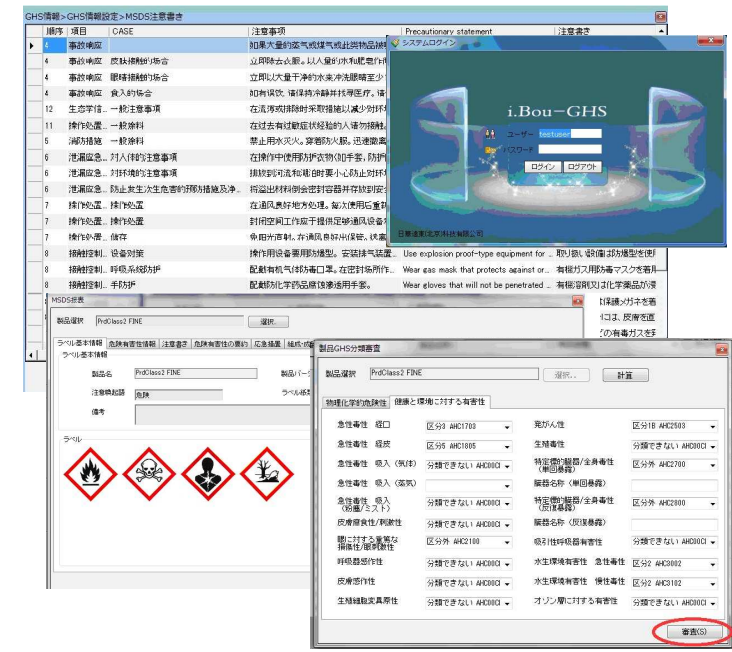
- 《 i.Bou-GHS (日本市場版)の特徴 》
- ◆SDS文章と整合のとれたGHSデータをエクスポート
 - ◆NITE最新分類データ2450物質など4,000物質を搭載
 - ◆国連発行のパールブック〈GHS第4版〉に準拠
 - ◆GHSに基づく化学物質の分類方法及びラベルとSDSに関する最新の〈JISZ7253〉に完全準拠
 - ◆日本の「最新SDS関連法」(安衛法・化管法・毒劇法・化審法)に完全準拠

GHS対応ラベルの発行業務を革新



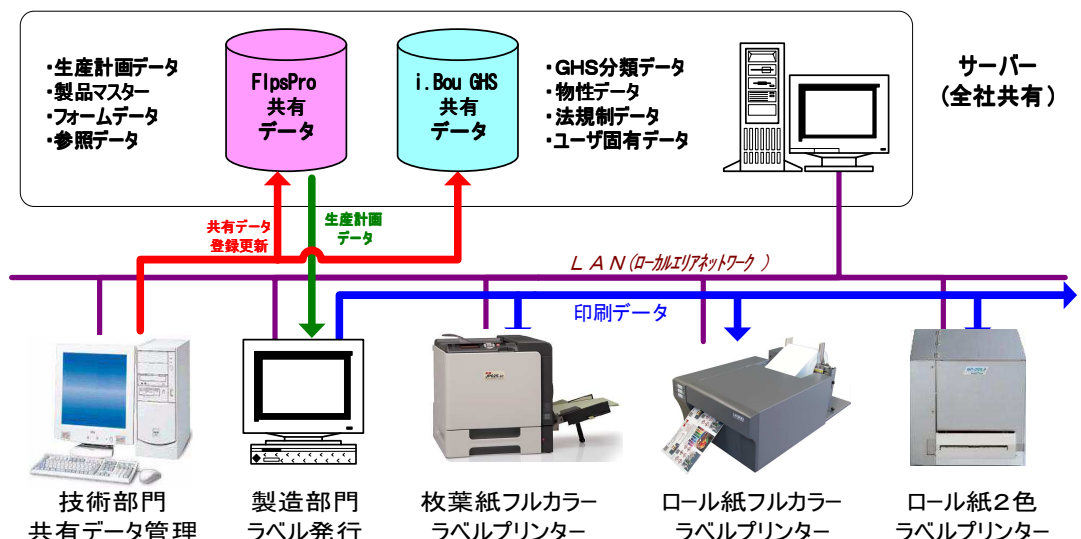
中国国内法規に対応の i.Bou-GHS(中国)も発売中です

(M)SDS作成業務を飛躍的に効率アップ



システム構成例

※「ラベルデータとSDS文書データ」を全社一元管理することができます。



※プリンター機種(カラー/モノクロ、枚葉紙/ロール紙)の自動選択・自動運転ができます



■オンライン自動発行ソフト<FlpsAPML>の特長

● GHSラベルデータの一括取込み

i.Bou-GHS(Japan)からエクスポートされた印字データを、FlpsProのデータベースに一括取込みします。

● ラベルをオンラインで連続発行

ホストからの生産計画データを受け取り、ラベルを連続自動発行します。多忙な現場で起こりがちな”ラベルのミス発行”を無くすことができます。

● ラベルフォームの一元管理

フォームデータと印字データ(可変データ)を分離する方式を採用。ラベルフォームを修正すると、対象となるすべてのデータで最新のラベルを発行できます。GHS・消防法・JISなどの法改正にともなう印字フォーマットの急を要する修正・変更にも素早く対応することができます。

● ラベルデータの一元管理

ラベルデータ(可変情報データベース)の一元化により、多品種なラベルデータの管理が容易に行えます。マスターテーブルを更新することにより、すべての事業所や現場で、即時に新データに対応したラベルの発行が可能となります。

● 簡易モードで逐次発行

破損や汚れなどで少量のラベルを再発行したい場合には、簡易モードでの手動発行が行えます。文字も大きく操作も簡単に、コンピュータに不慣れな方にも安心です。

● ログファイル自動生成

ラベルの発行日時とすべての印字データ(可変情報データ)を自動保存します。万が一ラベルの発行ミスが起きた場合の原因分析も素早く行えます。

■フルカラー・フォーム設計ソフト<FlpsFDML>の特長

● WYSIWYG方式

ラベルフォームの作成は、文字列やバーコード、画像などの印字オブジェクトを選択して配置するだけ。「WYSIWYG方式」の採用により、画面で見たとおりの美しいラベルが誰にでも手軽に作成できます。

● 多様な差込機能

設計したフォームの可変情報部分をラベル発行プログラム(FlpsAP)の印字項目と連携させることで、データベースとのリンク付けが可能です。(FlpsAP)と連動した多様な差込み印刷が簡単にこなせます。

● 複雑高度な印字機能も簡単に実現

連番印字機能・チェックデジット計算機能・専用マクロコマンドなど、業務用ラベルに求められる最新の機能を搭載しました。高度で複雑な印字内容のラベルでもシンプルに作成できます。

● 業務用ラベルに必要なマークを標準装備

PL警告マーク(102種類)、GHSマーク(19種類)、一般標準マーク(43種類)、荷扱いマーク(19種類)

※記載内容は、予告なしに変更することがあります。

■標準システム構成

構成品	数量
フルカラー・ラベルプリンター (JP635-LC)	1台
ラベル発行ソフト(FlpsProML) : CD-ROM, 操作マニュアル, USBドングル	1式
ラベル発行処理ソフト(FlpsAPML) : CD-ROM, 操作マニュアル, USBドングル	必要数
パソコン (仕様) システム/パソコン (PC本体、モニター、OS) Windows XP / Windows 7 (32Bits) CPU:800MHz以上、メモリ:512MB以上の空き、CD/DVD-ROM HDD:500MB以上の空き容量、LAN I/F、USB I/F必須	
システム導入準備費 (データベース仕様設計、フォーム設計など)	1式
納入設置教育費 (プリンター及びソフト)	1式

- 実演デモをご希望の際は、ご希望のデモ内容をお選び頂き、問合せ先までお申し込み下さい。
- i.Bou-GHS (日本版/中国版)のデモ/説明
 - FlpsProML のデモ/説明
 - JP635-LCを使ったラベル発行の実演デモ

■主な機能

● データベース登録管理機能

化学物質に対して、成分・原料・中間品・製品としてデータベース登録できます。

● SDS(安全データシート)自動作成機能

化学品混合物のGHS対応SDSをエクセルファイル形式で自動作成します。

● フルカラー「ラベル発行ソフト」FlpsPro ML との連携機能

GHS対応ラベルに必要な全ての項目データをCSV形式で出力することができます。

■主な特徴

● 4,000種の成分データを搭載

分類の基礎となる成分のデータベースは、日本政府の独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)の最新の分類データ2,450物質をベースに、劇毒物取締法、労働安全衛生法、化学物質管理促進法、化審法の化学物質を合わせ約4,000物質を搭載しています。

● GHS 第4版に準拠

GHSに基づく化学品のラベル、SDSに関する最新の国内規定であるJISZ 7253-2012はGHS 第4版に基づいており、GHSに基づく化学物質の分類方法に関する最新の国内規定であるJISZ 7252-2009はGHS第2版に基づいています。i.Bou-GHS(日本市場版)はこの二つのJIS規定に完全準拠しています。

● 最新の国内法規に対応

SDSとラベルの作成に関しては、「毒物及び劇物取締法」「労働安全衛生法」「化学物質管理促進法」「消防法」「化審法」「危険物船舶運送及び貯蔵規則」「航空法施行規則」等の日本の法律の要求を満たしています。

● GHS規定の混合物危険性判定法を採用

有害物質の分類は、GHSに規定された「混合物危険性判定法」を採用しています。

● 危険情報以外のデータ登録が可能

試作品番号、製品番号、製品名、ロット番号、容器の入れ目、有害成分、生産日、使用期限などが登録できるように設計されています。

● 社内審査フローを採用

作成したGHSラベルとSDSは、社内審査を合格して初めてプリントが可能になる業務フローを組み込んでいます。

● 32/64ビット版を準備

パソコンの多様性に合わせて、32ビット版と64ビット版を用意しています。

● バージョン管理

成分のGHS分類判定の変更、原材料、中間品、製品の配合比の変更などに対応するため、SDSとラベルはバージョン管理ができます。

● 成分データの更新・ソフトウェアのアップデート

i.Bou-GHSを購入時に「更新サポート契約」を締結して頂きます(必須)。契約締結後、ユーザ端末機がインターネットにつながる環境にあれば、NITEの分類・法律の改訂などにより成分データに変更があった場合に、自動でアップデートを行います。又ソフトウェアに変更があった場合も同様にアップデートを行います。機能追加・修正などのプログラム変更、質問メール対応等も含まれます。《補足》将来、関連法規やNITE分類などに、大巾な改正があった場合は、有償にて別途対応させていただきます。

※記載内容は、予告なしに変更することがあります。

■標準システム構成

構成品	数量
i.Bou-GHS(日本市場版) : CD-ROM, 操作マニュアル, USBドングル	1式
更新(アップデート)サポート契約 : 本体購入時に契約締結(毎年契約自動更新)	1式
パソコン (仕様) システム/パソコン (PC本体、モニター、OS) Win XP/7/Win Server2003(32Bits/64Bits) OFFICE2003以上 CPU:800MHz以上、メモリ:512MB以上の空き、CD/DVD-ROM HDD:500MB以上の空き容量、USB I/F必須	

●お問合せは下記まで



製造元 日本エレクトロニクス工業株式会社
CPS事業部 〒660-0877 兵庫県尼崎市宮内町3-133
Tel: 06-6411-5212 Fax: 06-6411-5216
本社 〒660-0877 兵庫県尼崎市宮内町3-133
ホームページ: <http://www.jei-inc.co.jp/>
E-Mail: jei_cps00@jei-inc.co.jp